

Mornig Performance of Organ Music
@
BACH GROVE, TSUKUBA

朝のオルガン音楽鑑賞会

Vol. 3

J.S.バッハのコラール作品と自由作品

Concerto in d (BWV 596)
コンチェルト 二短調 全4楽章

～A.ヴィヴァルディの弦楽作品をJ.S.バッハがオルガンのために編曲～

"Nun danket alle Gott" (BWV 192)
カンタータ「さあ、皆、御神に感謝せよ」よりアリア、コラール

"Nun danket alle Gott" (BWV 657)
「さあ、皆、御神に感謝せよ」 オルガン曲

Passacaglia in c (BWV 582)
パッサカリア ハ短調 他

ソプラノ：鈴木 美紀子

オルガン：宮本 とも子

お 話：石田 友雄

全席自由 2,000円

2022年6月3日(金) 午前10時30分～12時00分

バッハの森 記念奏楽堂

コロナウイルス感染防止対策として先着順・完全予約制とさせていただきます。

お申込みはEメール：info@bach.or.jp へお願いします。

裏面のQRコードからもお申込みいただけます。

マスクの着用、手指消毒にご協力をお願いいたします。

体調のすぐれない方はご来場をお控えください。

バッハの森「朝のオルガン音楽鑑賞会」のご紹介

2009年9月から始まったバッハの森の「オルガン音楽研究会」では、ヨハン・ゼバスティアン・バッハ(1685-1750)がルター派のコラール(宗教詩)をもとに作曲した100曲近いオルガン作品を取り上げ、それらの歌詞を石田友雄先生(筑波大学名誉教授)の解説で学び、私は各オルガン作品の演奏を担当してまいりました。このオルガン研究会の各シーズンのまとめとして生まれたのが「朝のオルガン音楽鑑賞会」です。

今年の4月から始まった春の「オルガン音楽研究会」には、ソプラノ歌手、鈴木美紀子さんが学びの仲間に加わってくださいました。オルガン作品を学ぶために同じコラールに基づいて作曲されたカンタータの学習が必須ですが、今まではCDでしか聞くことのできなかったカンタータのアリアなどを、今期の研究会では、実際に歌って聴かせていただけることに、受講者一同大変に感動しております。

2月25日に予定していた鑑賞会を、コロナ関連事情で6月3日に延期しました。プログラムには、オルガンの自由作品2曲とライブチッチ・コラール作品集から3曲を組んでおりますが、その中の1曲は、カンタータのアリアとコラールを鈴木美紀子さんの歌唱で、皆様にお届けできることとなりました。

作曲家バッハが扱ったコラール内容をより深く理解するためには、つくづく聖書の理解が不可欠であることを痛感するこの頃です。

宮本とも子



バッハの森のパイプオルガン
独ユルゲン・アーレント工房製作(1989年)
2段鍵盤 + ペダル
メカニカルアクション・19ストップ

鈴木 美紀子

ベルギー王立リエージュ音楽院の歌曲・オラトリオ科修了。フランスバロック音楽を中心に16~18世紀のイギリス・ドイツ歌曲やオラトリオ等のソリストとして活躍。フランスの宮廷歌曲、フランス民謡のリサイタルを開催。CD「美しいフランスの歌」「美しい人は愛の庭に」は金澤正剛氏(朝日新聞)、美山良夫氏(レコード芸術誌)から絶賛を得る。

宮本 とも子 (<https://clavichord-organ.com>)

1976年以来クラヴィコードを手元楽器とし、歴史的建造法に基づくオルガンで演奏・教育活動を行っている。バッハの森での学びを基に、2022年夏より、福井県立音楽堂「ハーモニーホールふくい」で自主企画のFukui Pipe Organ Project「エフ ポップ」を開始予定。

■お申込み・お問合せ

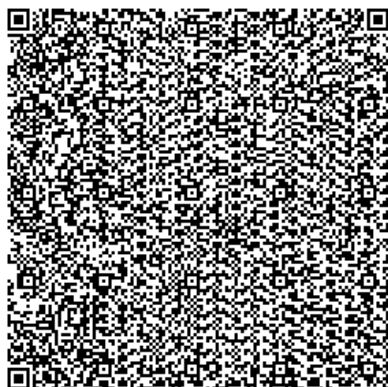
一般財団法人 バッハの森

茨城県つくば市東光台 2-7-9

<http://bach.or.jp>

メール info@bach.or.jp

Tel. 029-847-8696



※ お申込みはメールから ➡

QRコードをスキャンすると、メールソフトが起動します

